

令和2年度 木曾三川下流地区広域観光連携協議会  
木曾三川下流域リモート観光プログラム  
実施報告書

令和3年3月

木曾三川下流地区広域観光連携協議会 事務局

## (1) 企画概要

### 1) 実施概要

本プログラムの実施概要は以下の通りである。

表 1 実施概要

目	内容
実施目的	3密を避けたリモート観光の推進に向け、地元ガイド等と連携し主要観光スポットをオンラインでめぐりリモート観光プログラムを造成、試行することで、今後の本格運用の可能性検証や、その際のプログラム内容、販売・運営に関する方向性の検討を行う。
日程	令和3年2月2日(火) 14:00~15:30
参加者	一般モニター、広域観光連携の関係者(自治体ご担当者、ガイド等) 計14名 ※参加費無料
紹介施設	以下の観光施設をリレー形式で紹介する ① 船頭平閘門・木曾川文庫 【愛西市】 ② 六華苑・七里の渡し公園 【桑名市】 ③ 七里の渡跡・蟠龍櫓 【桑名市】
実施方法	インターネットを通じ、オンラインでの観光ガイドツアーを体験頂く。 ※一部コンテンツは事前に案内動画を撮影したものを上映し、ガイドとの質疑応答のみリアルタイムで実施する。 ※オンライン会議ツール(Zoom)の使用により、現地ガイドと参加者との双方向コミュニケーションを図る。



図 1 紹介施設の立地

## 2) プログラム概要

当日は、以下に示す内容でプログラムを実施した。

表2 プログラム概要

	観光資源・概要	実施方法	時間
①	<p>船頭平閘門・木曾川文庫【愛西市】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・船頭平閘門は木曾川と長良川の船の往来のために明治期に造られた水門で、国の重要文化財に指定されている。</li> <li>・木曾川文庫には、木曾三川に関する資料が保存・展示されている。</li> </ul>	<p>*案内は愛西市ガイドボランティアが担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現地ガイドより、船頭平閘門の概要紹介</li> <li>○「愛西市木曾川観光船のご案内(動画)」 <a href="https://www.aisaikankou.jp/wgs/blog/fp/17/">https://www.aisaikankou.jp/wgs/blog/fp/17/</a> (2:51)</li> <li>○再び現地ガイドに繋ぎ、船頭平閘門脇で説明補足と質疑応答</li> <li>※木曾三川の治水を説明しながら移動</li> <li>○木曾川文庫の展示をご紹介、質疑応答</li> </ul> <p>【②に接続を切り替え】</p>	25分
②	<p>六華苑・七里の渡し公園【桑名市】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の重要文化財で四層の塔屋を持つ木造2階建て洋館と池泉回遊式庭園を持つ和風建築から成る文化遺産。</li> </ul>	<p>*案内は桑名歴史案内人が担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現地ガイドより、六華苑のご案内(通常の案内プログラム内容)</li> <li>※説明後、参加者との質疑応答</li> <li>○七里の渡し公園に移動し、日本庭園等をご覧いただく</li> </ul> <p>【③に接続を切り替え】</p>	35分
③	<p>七里の渡跡・蟠龍櫓【桑名市】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱田・宮の渡しから海上七里で着いたことから「七里の渡」と呼ばれ、当時は、東海道の宿場町として賑わいをみせた。この大鳥居から伊勢路に入るため「伊勢国一の鳥居」と称される。</li> </ul>	<p>*案内は桑名歴史案内人が担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現地ガイドより、七里の渡跡・蟠龍櫓のご案内</li> <li>※説明後、参加者との質疑応答</li> </ul> <p>【終了後、事務局よりアンケート案内】</p>	10分
		※終了後、WEB上でアンケート実施	計70分

### 3) 実施方法

実施方法については、六華苑の会議室に事務局を置き、「①船頭平開門・木曾川文庫【愛西市】」、「②六華苑・七里の渡し公園【桑名市】」、「③七里の渡し跡・蟠龍櫓【桑名市】」をオンライン会議システムにて結び、事務局と各拠点との実況中継による取材を実施して、同時に一般参加者に動画配信を行う形式で実施した。

- ・システム：オンライン会議ツール zoom を使用
- ・zoom で配信する映像は録画し、後日協議会関係者に展開する。
- ・メイン画面は、zoom ツールのスポットライトビデオ設定にて行う。
- ・進行役が、紹介拠点の移動にあわせてメイン画面の切り替えを行う。



図2 実施の様子

#### 4) 各拠点における実施状況

##### ①船頭平閘門・木曾川文庫【愛西市】

- ・「愛西市観光協会ガイドボランティア」の方々にご説明いただいた。
- ・船頭平閘門では、船頭平閘門の概要や設置経緯、重要文化財に指定された理由などについて、ご紹介いただいた。
- ・愛西市木曾川観光船のご案内動画を上映（約3分）したのち、観光船の歴史や楽しさなどについて、ご紹介いただいた。
- ・木曾川文庫では、木曾三川の治水の歴史、木曾川文庫で閲覧できる資料などについて、ご紹介いただいた。



図3 船頭平閘門【愛西市】の様子



図4 木曾川文庫【愛西市】の様子

## ②六華苑・七里の渡し公園【桑名市】

- ・「桑名歴史案内人の会」の方にご説明いただいた。
- ・六華苑では、施設の概要、施設の経緯、設計者や特色などについて、ご紹介いただいた。
- ・また、実際に六華苑洋館の館内へ移動し、洋館1階の応接室（暖炉やシャンデリア）、洋館2階のベランダ（中庭庭園の眺め）、玄関ロビーなどの見どころをご紹介いただいた。
- ・七里の渡し公園では、公園の施設概要やコンセプト、当地が宿場町として栄えてきた経緯、住吉神社や諸戸庭園など周辺施設について、ご紹介いただいた。



図5 六華苑外観【桑名市】の様子



図6 六華苑館内【桑名市】の様子

### ③七里の渡し跡・蟠龍櫓【桑名市】

- ・「桑名歴史案内人の会」の方にご説明いただいた。
- ・七里の渡し跡では、施設の概要や名称の云われ、「伊勢国一の鳥居」などについて、ご紹介いただいた。
- ・蟠龍櫓では、かつて東海道を行き来する人々が必ず目にする桑名のシンボルとなっていることなどについて、ご紹介いただいた。



図7 七里の渡し跡・蟠龍櫓【桑名市】の様子



図8 七里の渡し跡・蟠龍櫓【桑名市】の様子

## 5) 参加者

一般モニターは以下の視点に基づき事務局にて集めた。

表3 一般モニター選定の考え方

ア. ターゲット想定	今回のプログラムは、以下の層に訴求力があると考え。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行・観光が好きな方</li> <li>・オンラインコンテンツに興味がある方</li> <li>・地域の歴史や文化等に興味がある方</li> </ul> (解説内容を考慮し、文化財、建築、伊勢信仰への関心層も含む)
イ. 参加条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBの通信環境、機器が整っており、zoomの使用が可能な方</li> <li>・施行日(2/2 14時～1時間半程度)に対応可能な方</li> </ul>
ウ. モニター区分	ア. を満たす層として以下①～③の区分を設定し、各層2人ずつ、計6名の参加者とする。 ①学生(20代) ②主婦(30～40代) ③リタイア世代(60代以上)

表4 一般モニターの参加者一覧

区分	性別	居住地
①学生	男性	神奈川県川崎市
	男性	東京都大田区
	女性	神奈川県相模原市
	女性	神奈川県相模原市
②主婦	女性	岐阜県本巣市
	女性	埼玉県さいたま市
③シニア	男性	兵庫県揖保郡太子町
	男性	愛知県名古屋市
	女性	埼玉県さいたま市



広域観光連携の関係者として、実務者会議の担当者および各地域のガイドボランティア等にもご参加いただいた。なお、参加条件は「表3 一般モニター選定の考え方」のイ.と同様で、各自治体の担当者にて地域内の参加者をとりまとめ、参加者リスト（氏名、所属、メールアドレス）を事務局に提供いただいた。

表5 連携自治体関係者の参加者一覧

自治体名	所属
桑名市	都市整備部 都市管理課
	産業振興部 観光課
木曾岬町	木曾岬町役場 産業課
海津市	海津市産業経済部 商工観光課
	海津市ボランティアガイドの会

表6 運営者一覧

区分	配置拠点・担当
愛西市観光協会 ガイドボランティア	①船頭平閘門
	①木曾川文庫
愛西市	①船頭平閘門
桑名歴史案内人の会	②六華苑・七里の渡し公園
	③七里の渡跡
桑名市	※リモートで参加
オリエンタルコンサル タンツ	本部（六華苑）/総合責任者
	本部（六華苑）/司会
	①船頭平閘門
	②六華苑/撮影
	③七里の渡跡

## (2) 広報

一般モニターにプログラムの概要・当日の参加方法等を掲載した案内チラシを作成し、参加者へ配布した。

# 木曾三川下流域 リモート観光プログラム

## 3密を避けた新たな観光スタイル、リモート観光プログラムで 木曾三川下流地区の魅力を楽しもう！

このプログラムは、木曾三川下流地区において、コロナ禍でも実施可能な観光プログラム開発を目的に試行するものです。今後の本格運用を見据え、プログラムの充実、実施方法などについて、プログラム終了後の参加者アンケートにご協力ください。

**日程** 2021年2月2日(火) **時間** 14:00～(80分程度)  
※終了後、アンケートに協力ください。

### 案内スポット

➢ 木曾川下流の愛知県愛西市、三重県桑名市の観光スポットをリレー形式で巡ります。  
➢ ボランティアガイドの現地からの生案内で、質問などにも対応します。

スポット①	スポット②	スポット③
船頭平閘門、木曾川文庫	六華苑(七里の渡し公園)	七里の渡跡・蟠龍橋
 <p>&lt;船頭平閘門(愛西市)&gt; 木曾川と長良川の船の往来のために明治期に造られた水門で、日本のスエズ運河とも呼ばれる(国重要文化財) <a href="https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/sisetu/sendohira-detail.html">https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/sisetu/sendohira-detail.html</a></p>	 <p>&lt;六華苑(桑名市)&gt; 桑名の実業家二代目諸戸清六の邸宅で、木造2階建て洋館と池泉回遊式庭園を持つ和風建築から成る文化遺産(国重要文化財) <a href="https://www.rokkoen.com/">https://www.rokkoen.com/</a></p>	 <p>&lt;七里の渡跡(桑名市)&gt; 熱田・宮の渡しから海上七里のためこう呼ばれ、当時は東海道の宿場町として賑わった。この大鳥居から伊勢路に入る。 <a href="https://kanko.city.kuwana.mie.jp/pickup/shichiri/">https://kanko.city.kuwana.mie.jp/pickup/shichiri/</a></p>

### 参加方法

オンライン会議システム(Zoom)を用いて、**現地との中継で実施**します。  
**開始5分前**に、以下URLよりご参加ください。  
URL: <https://us02web.zoom.us/j/88298464817?pwd=czhScDhvaHpPL0lSRTRvQ2J4cmVJQT09>  
ミーティングID: 882 9846 4817 / パスコード: 073894

### 参加者アンケート(プログラム終了後)

終了後、以下URLよりアンケートにご回答ください(10分程度)。※回答は、お一人1回のみお願いします。  
URL: <https://forms.gle/FGbKefv8SxrW5G3K6>

主催: 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所  
協力: 愛西市、桑名市 連携自治体: 海津市、弥富市、木曾岬町  
実施事業者: 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ (平山、三石、佐藤)  
【問い合わせ】03-6311-7867 10:00~17:00(土日祝除く)  
【当日連絡先】080-5929-5464(佐藤携帯)

図9 参加者案内のチラシ

### (3) あとがき

今年度は、愛西市と桑名市を対象として、地元ガイドの方々と連携し主要な歴史文化遺産をオンラインでめぐりリモート観光プログラムを造成、試行することで、3密を回避しながら地域の観光資源を活用する可能性を考えて頂きました。

木曾三川下流域の氾濫を抑えるために施された治水工事や携わってきた人々の歴史を知ることができる国の重要文化財や木曾川文庫、洋館と和風建築から成り地域の文化遺産である六華苑、令和3年に全面開園した桑名七里の渡し公園、東海道の宿場町の入口となる七里の渡し跡・蟠龍櫓と、様々な地域資源から愛西市・桑名市を知ることができました。また、各市のボランティアガイドならびに自治体の皆様には社会状況を踏まえ人数を限定しながら対応頂き、モニター等の参加者に対して地域の魅力をご紹介、楽しんで頂くことができました。参加いただいた皆様におかれましては御礼申し上げます。

本プログラムで紹介させて頂いた木曾川文庫、六華苑のご担当者の方には、事前の調整ならびに当日の運営に際し多大なご協力を頂き、感謝いたします。

引き続き、木曾三川下流地区の広域観光連携にご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年3月

木曾三川下流地区広域観光連携協議会 事務局  
国土交通省 木曾川下流河川事務所 河川公園課